中央区文化センター

CONCERT FOR VIOLIN, VIOLA AND PIANO

ヴァイオリンとヴィオラとピアノのコンサート

Mauro Iurato presents

東方の断章

―ウィーンとパリに響くアルメニアの残響―

Armenian Echoes between Vienna and Paris

プログラム（予定）

W.A. Mozart
　協奏交響曲 KV 364 より アンダンテ
　三重奏曲 KV 498「ケーゲルシュタット」
G.I. Gurdjieff
　アルメニアの旋律
Komitas
　クルンク
A. Hovhaness
　「チャハギール」作品 56a（ヴィオラ独奏）
C. Debussy
　亜麻色の髪の乙女
A. Rolla
　ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 二曲
ほか


Maurizio Redegoso Kharitian


Mauro Iurato


Giuseppe Mariotti

2026 年

12/5（土）

17:00 開演
（16:30 開場）

中央区文化センター　1 階多目的ルーム

全席自由　一般 2,500 円 ／ 学生 1,500 円

※学生は小中高生対象　※未就学児はご相談ください

お申込みは中央区文化センター窓口・お電話・WEB で

神戸市立中央区文化センター

078-381-7899

（受付時間：9 ～ 17 時）

WEB 申し込みはこちら→

ハルモニア KOBE CO.LTD.
Music School,Concerts&Events
Excellence in Music Education
〒650-0002
神戸市中央区北野町 3-9-8 サンショウヴィラ 2F
Tel:078-380-0286　URL:www.harmonia-kobe.com

神戸市立中央区文化センター　主催

東方の断章 ― ウィーンとパリに響くアルメニアの残響 ―

このコンサートでは、アルメニアからヨーロッパへとつながる音楽の旅をお楽しみいただきます。

旅の始まりは、グルジェフの「アルメニアの旋律」「アルメニアの歌」「ドゥドゥキ」。コーカサスの歌の思い出が、静かな祈りのような音楽になっています。続いては、村々を歩いて数千もの民謡を集めた、アルメニア音楽の父コミタス。故郷への想いを鶴に重ねた「クルンク」、優しさあふれる「チナール・エス」、ゆったりとした「ケレ・ケレ」の三曲です。パリでこれらを聴いたドビュッシーは、「たった一つの旋律だけでも、コミタスが偉大な芸術家だとわかる」と語ったといわれます。「亜麻色の髪の乙女」は、パリとアルメニアを結ぶ音楽の架け橋です。
アルメニアの心は、アルメニア系アメリカ人の作曲家ホヴァネスにも受け継がれ、「チャハギール (松明を掲げる者)」と無伴奏ヴィオラ・ソナタからの抜粋では、古い時代と現代が溶け合います。ゲストには、アルメニアに由来を持ち、その伝統に深く精通したイタリア人ヴィオラ奏者マウリツィオ・レデゴーゾ・カリティアンさんをお迎えします。
そして、ヨーロッパの音楽がこれに応えます。実はオーストリア (Österreich) は「東の国」という意味で、ウィーンは昔からヨーロッパの東の玄関口でした。モーツァルトの「ケーゲルシュタット三重奏曲」、ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲、協奏交響曲 KV 364 のアンダンテ、そして 19 世紀初めのミラノで活躍したヴィオラの名手ロッラの華やかな二重奏曲を二曲。

東と西は、思っているよりずっと近いのかもしれません。すべての民族の音楽に共通するもの、それは「歌」なのです。

出演者プロフィール



マウロ・イウラート (ヴァイオリン) Mauro IURATO

トリノの G.ヴェルディ音楽院を一年早く最優秀成績で卒業後、C. ロマーノ、F. グッリ、S. アッカルドらに師事。ウィーン国立音楽大学に進み M. フリッシェンシュラーガー教授に師事する。同大学のプロジェクトにて派遣准教授として来日。大阪フィル、PAC、アンサンブル金沢など著名なオーケストラのゲストコンサートマスターとして多数出演。ハルモニア KOBE(株) 設立 · 同ミュージックスクール代表として世界的レベルの音楽教育を提供。多数のコンクールより優秀指導者賞を受賞する。またモーツァルテウム大学 (SOAK) など海外のマスターコースでも定期的に教える。相愛大学、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。2022 年より 2024 年度まで神戸市民文化振興財団より中央区文化センター音楽プロデューサーを任命される。また神戸文化支援基金よりこぶし志縁賞、神戸市より神戸市文化奨励賞を受賞。2023 年 6 月、イタリア共和国騎士（カヴァリエーレ）の称号を授与される。イタリア共和国功労勲章ナイト、ハルモニア KOBE 株式会社社長、ハルモニア KOBE 音楽学校ディレクター。



マウリツィオ・レデゴーゾ・カリティアン (ヴィオラ) Maurizio REDEGOSO KHARITIAN

イタリアで学び、ヴァイオリンとヴィオラのディプロマを取得した後、パリ国立地方音楽院（CNR）およびシュトゥットガルト・バッハアカデミーに入学を許され、パリではイザイ四重奏団のもとで研鑽を積む。オネゲル四重奏団の創設メンバーとして、国際的な演奏活動を展開している。ソリストとしてオッフェルタ・ムジカーレ、ポメリッジ・ムジカーリ、RAI 器楽奏者グループと共演し、ヨーロッパ連合室内管弦楽団およびハイドン管弦楽団では首席ヴィオラ奏者を務めた。RAI 国立交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団とも共演している。アルメニア文化をテーマとする常設の芸術ラボラトリー「プロジェット・ノル・アラクス（Progetto Nor Arax）」の創設者であり、同プロジェクトはこれまでにイタリア、フランス、スイスで 100 を超える公演を実現し、アルメニア音楽に捧げた 2 枚の CD を制作した。収録曲の一部は、修道士であり音楽家であったコミタスの生涯を描いた映画『The Song of Solomon』のサウンドトラックに使用されている。



ジョゼッペ・マリオッティ (ピアノ) Giuseppe MARIOTTI

1963 年生まれ。幼少よりコンサート活動をはじめ、イタリアのピアチェンツァ音楽院にてピアノ、オルガン、作曲を学ぶ。1963 年ウィーン国立音楽大学在籍以来、来日までの 21 年間をウィーンに居する。ウィーン国立音楽大学には 6 年間在籍し、ピアノをハンス・グラーフ教授に師事。2003 年よりウィーン国立音楽大学と学術交流協定を結んでいる徳島文理大学音楽学部へ客員教授として来日、2007 年 4 月以降現在に至るまで、同校にて常任教授・音楽学部長として学生の指導にあたっている。ヨーロッパ、アメリカ、日本、ロシア連邦、イスラエルて演奏活動を精力的に行うと同時に、ラジオ・テレビにも数多く出演。フェルッチョ・ブゾーニのピアノ作品全集を 9 枚の CD に録音。2008 年 4 月より 2 年間、神戸女学院大学客員教授。2009 年以降毎年夏にウィーン国立音楽大学で行われる夏期講習会に招かれマスタークラスを担当。イタリア人ヴァイオリン奏者マウロ・イウラート氏とのデュオとしての活動は 1998 年より始めるが、来日後に UniDuo(ウニドゥオ) を結成。

お申込み・お問い合わせ

〈中央区文化センター〉

神戸市立中央区文化センター
078-381-7899 受付時間 9:00 ～ 17:00
〒650-0031 神戸市中央区東町 115 番地

JR 三ノ宮駅、阪急・阪神電車神戸三宮駅、市営地下鉄西神・山手線三宮駅から徒歩約 6 分。市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅から徒歩約 3 分。
※駐車場はございません。

